

鳳凰山だより

第8号 令和6年2月新春号

レベルの高い大学の講義を体験

1月31日(水) 大学模擬講義

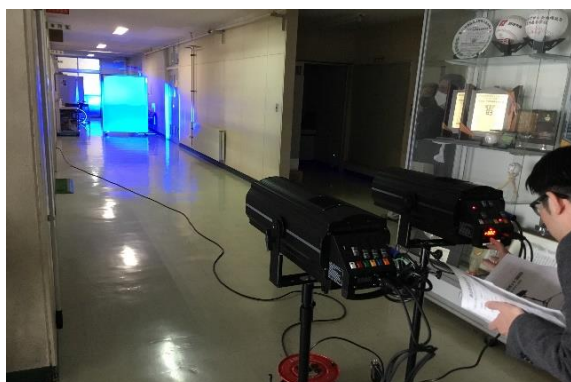
大学模擬講義は、1・2年生が大学教員による講義を受け、学習への意欲・関心を高めるとともに、自身のキャリアデザインを見つめ直すことを目的に行っている事業です。

今回は東北圏内の6つの大学の教員を講師に、13の講座を開設しました。講座のタイトルは「スポーツ障害と理学療法」「人工知能技術の発展と応用」「ここまでわかった！縄文時代の暮らし」「数字に騙されないで～確率と統計で疑う『あたりまえ』の世界」など多岐に渡るテーマで、それぞれ90分の講義をしていただきました。

生徒は進路希望や興味に従って講座を選択し、講師の先生方の専門分野のアカデミックな研究内容を理解しようと、真剣な表情でメモを取りながら、講義を受けていました。



ICT環境の整備とステージ機材の充実に使わせていただきました！



125周年記念講演会講師の田面木様からの寄付金は、全日制では、音楽室、図書館等へのWi-Fi設置と、ステージ用ピンスポットライト2機購入のみに使わせていただきました。

Wi-Fi設置は2月に工事が行われる予定で、学習の一層の効率化が期待できます。

ピンスポットライトは1月25日に納品されました。キャスター付きで移動しやすく、色の変更操作も簡単です。早速試してみたところ、灯体の発熱量が少なく安全で、スムーズに調光ができました。